

GSJ 地質ニュース

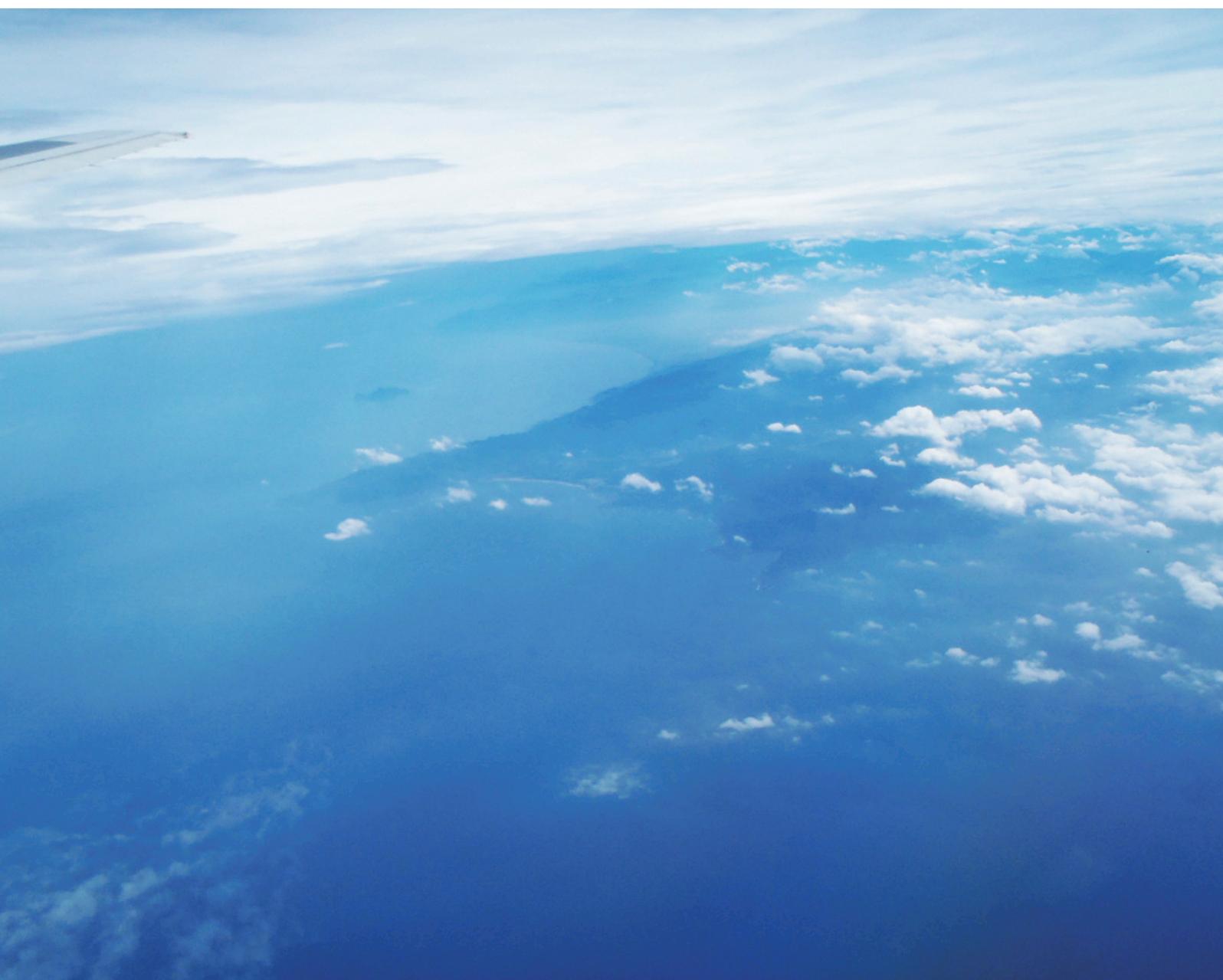
GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

2

Vol. 4 No.2



E. ナウマン著「地磁気現象と地殻構造の関連性」抄訳	山田直利・矢島道子	37～51
日本地質学の軌跡 3 原田豊吉：帝国大学理科大学と農商務省地質局の星	鈴木 理	52～57
水文環境図「熊本地域」	井川怜欧	58～62
書籍紹介 学びなおすと地学はおもしろい	七山 太	63～64

表紙説明

機内から撮影された写真に見る台湾北東部の地質とネオテクトニクス

台湾島はユーラシアプレート東縁に生じた大陸-島弧衝突型の造山帯であり、現在もフィリピン海プレートが8.2 cm/年の速度で北西方向へ前進していることにより、中央山脈の隆起と山脈西側の衝上断層群を生じさせている。さらに、島の北東部沖では琉球弧が会合しているが、台湾の地帯構造との連続性は明確ではない。写真中央は三貂角岬^{サンチアゴ}、その奥に浮かぶ亀山島^{グイシヤン}は約7000年前まで噴火していた活火山である。正三角形の蘭陽平野^{ランヤン}は沖縄トラフの西端に位置しており、現在も著しく沈降し、蘭陽溪からもたらされた大量の土砂によって巨大なデルタが生じている。(写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質情報研究部門)

Cover Page

An aerial photo of geology and neotectonics of the northeastern part of Taiwan Island taken on May 19, 2013. (Photograph and caption by Futoshi Nanayama).